

一般会計補正予算

今回の補正予算は、予算総額に2億6,223万4千円を追加し、総額を148億4,306万1千円とするものです。

歳入の主なものは、市税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、諸収入、市債などです。

歳出の主なものは、民生費、教育費、公債費などです。

問 東北道を所管するネクスコ東日本との調整の遅れにより、白岡宮代線完成スケジュールはどうなるのか。橋脚、橋桁、完成(開通)の見通しはどうなるか。

答 現時点のネクスコ東日本との打合せでは、東京オリンピック以降であり、市としては遅れることがないように両側の橋脚工事を先行して完了させることとしている。高速道路上の橋桁架設後、東西両側の工事を進めていく予定で、供用開始まで7年程度を見込んでいる。

問 元金・利子償還などの査定精度を上げるべきだが、無理なのか。対策はないのか。

答 元金償還金増加は、特段の理由がない限り大きな補正額が生じないものとする。利子の償還では、将来の借入時点における利率を予測し見積もりを立てている。性質上、補正額が生じるが、補正額を最小限にするため、金利動向を注視し、情報収集に努めていく。

特別会計補正予算

介護保険

今回の補正予算は、予算総額に3億4,815万6千円を追加し、総額を34億2,238万7千円とするものです。

歳入の主なものは、国庫支出金、支払基金交付金、繰入金などを増額するものです。

歳出の主なものは、介護保険給付費、地域支援事業費などを増額するものです。

問 介護給付費の増加の要因は、特定の人よりも多くの介護サービスを受けたことによるものか。それとも介護サービスを利用する人数が増えたことによるものか。

答 介護給付費の増加の要因は、利用者の増加と対象者一人当たりが利用するサービスの増加による両方と考えている。

問 介護予防・生活支援サービス事業費が、当初予算の約37%も増額しているが、サービス利用が増加したことによるものなのか。

答 28年11月から要支援者を対象とした総合事業が始まり、対象者が移行したため、利用者が増加した。総合事業が開始して1年間経過しない時期に、30年度の当初予算を編成したため、正確な利用者数が見込めなかった。

農業集落排水

今回の補正予算は、予算総額に9万3千円を追加し、総額を8,347万3千円とするものです。

歳入は、繰入金を増額し、歳出は、総務費を増額するものです。

公共下水道

今回の補正予算は、予算総額から457万5千円を減額し、総額を12億3,255万2千円とするものです。

歳入は、繰入金を減額し、歳出は、総務費を減額するものです。

白岡駅東部・中央土地区画整理

今回の補正予算は、予算総額から10万1千円を減額し、総額を2億2,260万9千円とするものです。

歳入は、国庫支出金を増額し、繰入金を減額するものです。

歳出は、総務費を減額するものです。

水道事業

今回の補正予算は、収益的収支については、支出を94万5千円増額し、10億1,612万6千円とするものです。

資本的収支については、支出を788万8千円減額し、3億4,555万円とするものです。